第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 公共交通網					B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 公共交通網の充実			A	A：余地はない B：余地はある			
事業	自転車駐車場管理				A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	交通政策課			事業の成果・分析		<p>有料自転車等駐車場（志木駅前暫定自転車駐車場を除く。）について、かもめビルサービス・日駐研共同企業を指定管理者として施設の管理を行わせているため、当企業の蓄積されたノウハウが運営管理に生かされている。指定管理料の納付については、指定管理者への指導・管理を適宜行った。</p> <p>毎月実施している定例会等で指定管理者との情報共有を密に行い、自転車駐車場に係る諸費用について計画どおり支出を行うことができ、指定管理により適切な運営ができた。</p>		
事業概要	電車、バス利用者等の利便性を図るとともに、駅周辺の放置自転車の誘発防止、街並みの美観維持を目的として設置している自転車等駐車場の維持管理を行う。 有料自転車等駐車場（志木駅前暫定自転車駐車場を除く。）については、かもめビルサービス・日駐研共同企業を指定管理者とする（令和4年度～令和8年度）。							
実施形態	☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他							
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度							
根拠法令等	新座市自転車等駐車場条例、新座市自転車等駐車場規則							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予算現額 (円)		6,143,000	16,587,000				
	財源内訳	一般財源		16,000	-4,798,000			
		特定財源等		6,127,000	21,385,000			
	支出済額 (円)		6,019,693	15,195,443				
	不用額 (円)		123,307	1,391,557				
執行率 (%)		97.99%	91.61%					
実施内容		令和6年度の新紙幣対応やICキャッシュレス化対応を進めるため、券売機改修を行い、利便性の向上を図った。その他、自転車駐車場運営に必要な人件費や、設備の点検保守、清掃、警備委託費用等の管理費を支出し、施設管理を行った。						
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名		単位					
	志木駅南口地下自転車駐車場平均定期利用数		台	1,354	1,386			
			台	2373	2336			
	新座駅南口地下自転車駐車場平均定期利用数		台					
			台					
新座駅南口地下自転車駐車場平均定期利用数		台						
新座駅南口地下自転車駐車場平均定期利用数		台						
今後の方向性		II						
今後の取組方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者との情報共有や担当による現地調査等により、自転車駐車場施設の状況を注視しながら、適宜、施設に係る諸費用の支出を行う。 ・ 施設全般で老朽化が進んでおり、突発的な修繕等が必要となる可能性がある。 ・ 自転車駐車場におけるキャッシュレス決済の導入、利用促進を進めていく。 ・ 新座駅周辺の定期利用システムの老朽化に対応し、刷新を検討する。 						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性 【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 公共交通網の充実			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	コミュニティバス運行			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	交通政策課			事業の成果・分析	路線バスの運行が困難な地域において、公共施設、病院等の利用者の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行し、市内の交通不便地域の解消に努めた。		
事業概要	市内公共施設や病院等の利用者の利便性を図るため、市コミュニティバスを運行する。 路線 4コース/便数 7便/運行日 年末年始を除く毎日(土日祝日は減便運行)/料金 大人180円、子ども90円(市内在住の満75歳以上の高齢者、障がい者及び妊産婦は無料乗車証等を提示することにより無料)						
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他						
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度						
根拠法令等	新座市コミュニティバス運行に関する年度協定書						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		65,739,000	69,667,000			
	財源内訳	一般財源	65,703,000	69,631,000			
		特定財源等	36,000	36,000			
	支出済額(円)		62,597,355	69,646,801			
	不用額(円)		3,141,645	20,199			
	執行率(%)		95.22%	99.97%			
実施内容		市内公共施設や病院等の利用者の利便性を図るため、市コミュニティバスを運行した。 年間運行日数 359日					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	年間利用者数(延べ人数)	人	154,221	167,055			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		市民等から、路線、運行時刻及び運行本数の更なる改善要望が寄せられているが、全国的な運転士不足により、運行本数の見直しや路線の拡大等は難しい状況である。 令和7年度に策定予定の地域公共交通計画の中で運行計画等を検討していく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 公共交通網の充実			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	路線バス運行支援			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	交通政策課			事業の成果・分析	路線バスの利便性を確保することができた。		
事業概要	路線バスの待機場等の転貸等により、路線バスの運行を支援する。						
実施形態	☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他						
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額 (円)		12,476,000	8,338,000			
	財源内訳	一般財源	2,601,000	1,305,000			
		特定財源等	9,875,000	7,033,000			
	支出済額 (円)		12,474,109	8,256,113			
	不用額 (円)		1,891	81,887			
執行率 (%)		99.98%	99.02%				
実施内容		路線バスの待機場等の転貸等により、路線バスの運行を支援した。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	路線バス事業者への転貸箇所数	か所	4	4			
	路線バスバス停等設置支援箇所数	か所	4	4			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、地権者から土地を借り上げ、利便性の確保に努める。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 公共交通網の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	地域公共交通システム			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	交通政策課			事業の成果・分析	地域公共交通会議は、道路運送法の規定に基づき、市内における需要に応じた市民生活に必要な旅客輸送の確保その他市民の利便の増進を図り、本市の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議し、並びに地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画の作成及び実施に関し必要となる事項を協議するため設置している。そのような中、全国的に深刻化しているバスやタクシー運転手の成り手不足や、2024年問題に対応しながらも持続可能な公共交通を実現するためには、同会議において、協議を重ねながら解決策を見出す必要がある。		
事業概要	コミュニティバス「にいバス」等の公共交通機関について、市民の利便性向上を図るため、地域公共交通会議を開催する。						
実施形態	☒ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他						
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☒ 国・県の制度+市独自の制度 ☐ 市独自の制度						
根拠法令等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額(円)		315,000	9,220,000			
	財源内訳	一般財源	315,000	6,728,000			
		特定財源等	0	2,492,000			
	支出済額(円)		76,000	8,940,000			
	不用額(円)		239,000	280,000			
執行率(%)		24.13%	96.96%				
実施内容		地域公共交通計画の策定に向けて、新座市地域公共交通会議において、地域公共交通の現状整理や課題抽出に向けたアンケート調査等を実施した。 新座市地域公共交通会議の構成員 28人 (公共交通事業者等の代表、公募市民、学識経験者、関係行政機関等) <令和6年8月1日開催> 審議内容 計画構成と検討スケジュールについて 等 <令和6年12月17日開催> 審議内容 地域公共交通の現状について 等 <令和7年3月28日開催> 審議内容 現状分析と公共交通に係る課題について					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
指標名		単位					
活動指標・成果指標	地域公共交通会議開催回数	回	1	3			
今後の方向性		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 36px; margin-right: 10px;">II</div> <div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>					
今後の取組方針		地域公共交通計画の策定に向けては、オープンハウスやパブリックコメント等を通じて広く市民の意見を聴取するとともに、地域公共交通会議における協議を重ねる必要があることから、会議資料の事前送付を前提に、会議中に多くの意見を引き出すことができるよう工夫を図り、本市にとって望ましい地域旅客運送サービスの実現に向けた計画の策定及び事業の実施を推進する。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)		3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】	事業の実施状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず</td> </tr> </table>	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 公共交通網	事業の必要性【市民ニーズ】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td>A：高まっている B：変わらない C：薄れている</td> </tr> </table>	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 公共交通網の充実	事業の効率性【見直す余地】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td>A：余地はない B：余地はある</td> </tr> </table>	A	A：余地はない B：余地はある
A	A：余地はない B：余地はある				
事業	都市高速鉄道12号線延伸促進	施策への貢献度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td>A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い</td> </tr> </table>	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	地下鉄12号線延伸促進室	事業の成果・分析	都市高速鉄道12号線延伸促進協議会において、調査研究、啓発活動及び要望活動を実施した。都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会においては、総会及び役員会を開催し、啓発活動や埼玉県知事への要望活動を実施した。引き続き延伸実現に向けて活動を実施していく。		
事業概要	都市高速鉄道12号線(都営大江戸線)の新座市及びJR武蔵野線東所沢駅への延伸の早期実現に向け、延伸促進活動を行う。 新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を通じた延伸促進活動を行うとともに、市内関係団体代表者や地元選出議員等で構成する新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会を通じた延伸促進活動を行う。				
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☒ その他				
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度				
根拠法令等	都市高速鉄道12号線建設促進基金条例				

2 事業実績 (Do)							
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額(円)	4,548,000	3,109,000				
	財源内訳	一般財源	2,219,000	1,429,000			
		特定財源等	2,329,000	1,680,000			
	支出済額(円)	4,469,688	3,021,376				
	不用額(円)	78,312	87,624				
	執行率(%)	98.28%	97.18%				
実施内容		都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(幹事会・総会) 内容：事業報告及び収支決算について 事業計画(案)及び収支予算(案)について 都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会(幹事会・総会) 内容：事業報告及び収支決算について、事業計画(案)及び収支予算(案)について 同盟会規約の一部改正について ほか					
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	都市高速鉄道12号線延伸促進協議会総会	回	1	1			
	都市高速鉄道12号線延伸促進協議会幹事会	回	2	2			
	12号線延伸促進期成同盟会総会	回	1	1			
	12号線延伸促進期成同盟会役員	回	2	3			

4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
今後の方向性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">Ⅲ</td> <td>I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了</td> </tr> </table>	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
今後の取組方針	<p>都市高速鉄道12号線延伸促進協議会 今後も勉強会や意見交換会等を行うとともに、関係機関への要望活動やPR活動を行っていく。</p> <p>都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会 審議内容の充実を検討し、今後も引き続き役員会や総会を開催し、市民の意見等も広く聞き入れながら、地下鉄12号線延伸促進活動や要望活動を行っていく。</p> <p>匡の交通政策審議会の答申で示された課題を解決するために、まちづくり構想の見直しを行う。今後は、アンケート調査やオープンハウスを実施し、様々な意見を取り入れたまちづくり構想の方針を定めていく。</p>		

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 公共交通網の充実			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	志木駅南口エレベーター管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	道路管理課			事業の成果・分析	定期的に清掃及び点検を行い適正な維持管理に努めた。 また、経年劣化によるエレベーターの維持補修工事を行った。		
事業概要	橋上駅である東武東上線志木駅のバリアフリー施設として南口駅前広場に設置したエレベーターの維持管理を行う。 また経年劣化によるエレベーターの維持補修工事を行う。						
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他						
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額 (円)		2,318,000	4,681,000			
	財源内訳	一般財源	2,318,000	4,681,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額 (円)		2,259,841	4,367,075			
	不用額 (円)		58,159	313,925			
	執行率 (%)		97.49%	93.29%			
実施内容		経年劣化によるエレベーターの維持管理を行った。 <div style="font-size: small;"> 日常清掃 12か月 基本点検・定期点検 12か月 昇降機改修工事【2年に1回】 </div>					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	清掃・点検回数	回	12	12			
	昇降機改修工事	件	0	1			
今後の方向性		Ⅲ					
今後の取組方針		引き続き定期的に清掃及び点検を行い維持管理に努めていく。					
		<div style="font-size: small;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div>					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 交通安全の確立			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	一般事務（交通政策課）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	交通政策課			事業の成果・分析	市内の交差点等に交通安全啓発看板を設置し、交通安全啓発を図った。		
事業概要	交通安全啓発看板の設置、管理等を行う。						
実施形態	☒ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他						
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		4,791,000	8,092,000			
	財源内訳	一般財源	4,791,000	8,092,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額 (円)		4,007,649	7,887,641			
	不用額 (円)		783,351	204,359			
執行率 (%)		83.65%	97.47%				
実施内容		見通しの悪い交差点や、通学路等への安全対策を図るため「スピード落とせ」「飛び出し注意」等の啓発看板を114枚作成し、設置した。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	看板作成委託料	千円		1,011			
	看板設置箇所数	箇所		114			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		今後も引き続き看板を設置し、交通安全啓発を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策2 交通安全の確立			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	交通安全推進補助			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	交通政策課			事業の成果・分析	<p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、市民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進するため、啓発活動等を実施している。特に、「自転車乗用時のヘルメット着用促進」「自転車の走行ルール遵守」「横断歩道における歩行者優先の徹底」の三つを重点目標に掲げ、啓発品の配布等を通じて市民への呼びかけを行っている。</p>			
事業概要	新座市交通安全協会、新座市交通安全母の会及び新座市交通安全推進協議会に対し、補助を行う。							
実施形態	☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☒ その他							
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☒ 国・県の制度＋市独自の制度 ☐ 市独自の制度							
根拠法令等	(各季 国、県、市が策定する) 全国交通安全運動実施要綱、交通事故防止運動実施要綱							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予算現額 (円)		1,711,000	1,711,000				
	財源内訳	一般財源	1,711,000	1,711,000				
		特定財源等	0	0				
	支出済額 (円)		1,711,000	1,711,000				
	不用額 (円)		0	0				
執行率 (%)		100.00%	100.00%					
実施内容		交通安全協会、交通安全母の会及び交通安全推進協議会の活動に対する補助を実施した。 <新座市交通安全協会> 構成人員：役員及び一般運転者会員 事業内容：広報・街頭活動、違法駐車等の追放及び道路環境の整備等 <新座市交通安全母の会> 構成人員：理事12人 各種イベントにおける交通安全啓発活動等 <新座市交通安全推進協議会> 構成団体：50団体 全国交通安全運動及び交通事故防止運動の実施等						
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名	単位						
	運動出発式参加人数	人	295	309				
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針								
交通安全啓発活動の更なる充実につながるよう、春及び秋の全国交通安全運動並びに夏及び冬の交通事故防止運動の実施体制や、運動期間内における街頭啓発の回数、パトロールの回数、時間帯等について検討し、より一層充実した交通安全運動の推進を図っていく。								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第3章 基本政策3 やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 公共交通網			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策2 交通安全の確立			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある		
事業	道路施設整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	道路管理課			事業の成果・分析	1 道路反射鏡設置数13基（令和7年3月末現在 総数2,792基） 2 道路照明灯設置数18基（令和7年3月末現在 総数9,681基） 市民要望に応え安全で円滑な道路交通と歩行者の安全確保を図った。 ※設置数は市の予算で設置した数。総数には、予算を伴わない帰属設置数も含む。 要望に対する設置内訳（要望件数と設置基数は一致しない） 照明灯：新規10件、設置見送り4件 反射鏡：新規35件、設置見送り17件			
事業概要	市道の交通状況・安全度などに対応して、交通安全施設である道路反射鏡及び道路照明灯の設置・整備を行い、安全で円滑な道路交通と歩行者の安全を確保する。							
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他							
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度+市独自の制度 ☒ 市独自の制度							
根拠法令等	なし							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算 ・ 決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予算現額 (円)		8,165,000	7,479,000				
	財源内訳	一般財源		7,415,000	6,729,000			
		特定財源等		750,000	750,000			
	支出済額 (円)		8,157,538	7,469,880				
	不用額 (円)		7,462	9,120				
執行率 (%)		99.91%	99.88%					
実施内容		市道の交通事業・安全度などに対応して、交通安全施設である道路反射鏡及び道路照明灯の設置・整備を行い、安全で円滑な道路交通と歩行者の安全確保を図った。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位						
	道路反射鏡及び道路照明灯の新設数	箇所	37	48				
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針		引き続き交通安全施設である道路反射鏡及び道路照明灯の設置・整備を行い、安全で円滑な道路交通と歩行者の安全確保を図っていく。 新規設置費用等の予算軽減のため、新座市開発行為等の基準及び手続に関する条例を改正し、民間事業における開発行為等において道路反射鏡及び照明灯の設置についてこれまでの努力義務から設置義務へと基準を強化する。						